

平成 29 年 6 月 30 日

学校法人三幸学園
福岡こども専門学校
校長 岩本 克也 殿

学校関係者評価委員会
委員長 春田 雅孝

学校関係者評価委員会報告

- 平成 28 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 春田 雅孝 (社会福祉法人春陽会 中比恵ソレイユガーデン保育園 園長)
- ② 古賀 綾子 (株式会社 JR 博多シティ文化事業部 文化事業課)
- ③ 小城 彩音 (社会福祉法人みつる会 城浜保育園 (本校卒業生))

2 学校関係者評価委員会の開催状況

平成 29 年 6 月 30 日 (会場 福岡こども専門学校 602 教室)

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以 上

平成 28 年度 学校法人 三幸学園 福岡こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者 : 副校長 本多 未佐

学校関係者評価報告責任者 : 学校関係者評価委員会委員長 春田 雅孝

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和60年の開校以来約32年にわたり、『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳、「三幸学園の原点 あきらめない教育」に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「ビジョンミーティング」、「サマーセミナー」においては、学園長及び理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、各姉妹校で行われる年3回の全体会議にて共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「成功の法則」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

・人間力を高める教育の実践

「皆から信頼感謝され、こどもの未来を育む人材」を育成することを、目指す人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出できると考えている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①前年度重点施策振り返り

・挨拶指導、社会人コミュニケーションスキル向上

登校時の挨拶指導、授業の始業時と終業時の号令の徹底、クラス単位で行事運営を行うことでコミュニケーションスキルを身に付けていく。

⇒新入生から効果が少しずつ見られ、まだまだではあるが挨拶のレベルは以前に比べて向上していると評価を受ける。

・教科間の連動性の強化

カリキュラムを体系化した一覧を職員に配布し、教科間の連動などを促す。

⇒全授業の教科目標などを一覧で見る機会を設け、また教科会などを開きより効果的な教科指導が行えている。

⇒教員同士の授業見学を行い、授業内容などを共有することで教科指導に活かしている。

②学校関係者評価委員会コメント

・外部の者に対してもしっかりと挨拶がされており、洗練している。

・実習生を見る限りではしっかりと指導の成果が出ているかと思う。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

・掲示物の掲示、新入生の入学時の研修や保護者会にて教育理念や目的の周知をしている。ただし、業界の意見をたくさん収集し、学生に還元できているかという点はまだ不足している部分がある。

②今後の改善方法

・園、施設の方々と意見交換の機会を増やし、業界の動向や求める人材像を正確に捉えて学校教育に反映していく。また、実習時の評価表で得たご意見やデータを多面的に分析し、教員・学生にフィードバックを行い、日々の教育指導に活かしたい。

③特記事項

・教育理念 『技能と心の調和』

こども専門学校ビジョン『こどもの未来を育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする』

目指す人材育成像『皆から信頼・感謝され、こどもの未来を育む人材を育成する』

・理念浸透のため、会議内での認識統一、学生へのポスター掲示や授業での周知を行っている。

④学校関係者評価委員会コメント

・現場において「信頼される」ということは、一番は保護者から信頼されることだと思う。特にしっかりと「挨拶」「子どもを見る」「周りを見る」を行うことが必要なので、在学中のボランティア経験や実習で培ってほしい。

(2). 学校運営

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

①課題

・教職員全員、コンプライアンス遵守に関する誓約書を取り交わし、しっかりと個人情報管理する体制を整えている。

②今後の改善方策

・今後、さらに全教職員を対象に学園で作成しているコンプライアンスDVDやコンプライアンス規定を元に研修を行うなどをして理解を深める。

③特記事項

・学園では各雇用形態に準じ、就業規則の整備している。

④学校関係者評価員会コメント

・会社などでは、PCにロックをかけたり、個人のUSBを差せない設定にする工夫をしている。

・現場では、個人名が載っている・又は個人を特定できるようなものは絶対に持ち帰ってはならない。そのようなことを学生にも伝えてほしい。

(3). 教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3
資格（免許）取得の指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

①課題

・特に実習前後の指導體制・内容について教員格差が生じてしまい、実習先から実習内容についてご指摘を頂いてしまうことがある。

②今後の改善方策

・引き続き、学校関係者評価委員及び実習等で関連する企業・関係者様のご意見を頂戴し、その意見を全教職員にフィードバックを行い、各教職員の意識の向上に努める。

③特記事項

- ・産学連携の一環として、JR 博多シティと提携して、継続的なボランティアを行っている。
- ・地域連携の一環として、地域の保護者とお子様をお呼びし、お子様への遊びの提供、保護者の育児支援を行っている。
- ・アクティブラーニングの教務研修を導入し、年2回全教員に対して専門的な研修を行っている。

④学校関係者評価委員会コメント

- ・日誌の書き方は、学校が伝えたのと本人が分かっているのは違うので、きちんと理解しているかを確認することが重要。
- ・日誌を添削して一番思うのは、観察力の乏しさである。保育のねらいをしっかりと把握したうえで子どもの様子を記載する必要がある。また、一日の振り返りを立てたのであれば、しっかりとその目標の振り返りを行うべきである。

(4). 学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

①課題

- ・本校は開校5年目の学校である為、卒業生が少ない実情がある。まだまだ卒業生の活躍や評価、キャリアアップの様子などをお聞きする機会が少ない。
- ・就職は 100%決定することが出来たが、退学率においては目標(7.5%)をクリアすることが出来なかった。原因としては、精神的な理由・経済的な理由・進路変更の3点が多かった。

②今後の改善方策

- ・卒業生の勤務先に積極的に訪問を行い活躍や評価をお聞きしたり、同窓会を開き卒業生から意見を聞く場を設ける。
- ・退学率の目標(7.5%)を達成するために、精神的な要因が感じられるものに関しては定期的な面談、場合によってはスクールカウンセラーや医療機関との連携を行う。進路変更に関しては意識が薄れてしまっている学生に対して、子どもと触れ合うボランティアなどの機会を提供していく。

③特記事項

- ・就職率 **100.0%** /決定。 退学率 **8.48%**

④学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業生が働いている先に率先して実習に来させてほしい。そうすると、卒業生の様子も分かるし、実習生も安心が出来ると思う。

(5). 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	2
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

①課題

・学費応援制度などの体制は整っているが、学費を延納している生徒への早期連絡や返済方法の相談などが後手になってしまうことがある。

・卒業生の支援体制があまり整っておらず、特に1年目の早期離職の状況把握や悩み相談などに応じられていない現状がある。

②今後の改善方策

・学費未納などの状況がある学生について、守秘義務を前提に教職員間で情報共有を行い、早期に学生と保護者の両面に連絡を行い、様々な提案を行いながら返済計画などを立てていく。

・社会人1年目の卒業生を対象に同窓会を行い、状況把握や悩みの相談などに応じ、今後、なるべく離職になる前に学校へ相談が入る体制を作る。

③特記事項

・担任と、地区担当の2名によるダブルフォローアップシステムを実施している

・保護者への定期連絡を実施している

④学校関係者評価委員会コメント

・現場では中途採用を積極的に行っている場合が多いので、学校で卒業生の様子を把握頂き、中途採用に協力いただきたい。

(6). 教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災、安全管理に対する体制は整備されているか	3

①課題

・学生へ学校近郊の避難場所・災害対処等を明記した災害マップを配布するなど、啓蒙活動を強化したが、緊急時にどれだけ実際に適切な対応を取ることができるかが不安である。

②今後の改善方策

・避難訓練を導入し、緊張感を持って災害対応を学ぶ機会を設ける。

③特記事項

・保育分野単独の校舎のため、充実した実習施設がある

・世界で実施されている保育を学ぶための三幸学園姉妹校全体で海外研修を実施している

④学校関係者評価委員会コメント

・園でも、会社でも積極的に避難訓練を行っている。園児や職員にも内緒で行うと緊張感が持てて良い。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

・福岡県専修学校各種連合会の規定に従い、適正に実施している。

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・地域で設置されている広報室と連携しながら、対外折衝・高校への説明会・オープンキャンパス等の機械を通じて魅力を正確に伝えられる様に計画的に活動を展開している。

④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8). 財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

②今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③特記事項

なし

④学校関係者評価員会コメント

特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

①課題

・教職員全員、コンプライアンス遵守に関する誓約書を取り交わし、しっかりと個人情報を管理する体制を整えている。

②今後の改善方策

・個人情報を紙ベースで残すものに関しては鍵のかかる場所に保管をする。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

①課題

・自ら運営企画しているボランティアは盛んに行っているが、園・施設さまとの連携したボランティアをもっと増やしていきたい。

②今後の改善方策

・実習や就職でお世話になっている園さまを中心に、ボランティアのお誘いなどがあれば積極的に学校で紹介していく。

③特記事項

- ・ボランティア活動を 30 時間以上行うことで単位認定を行っている。
- ・産学連携の一環として、JR 博多シティと提携して、継続的なボランティアを行っている。
- ・地域連携の一環として、地域の保護者とお子様をお呼びし、お子様への遊びの提供、保護者の育児支援を行っている。

④学校関係者評価委員会コメント

- ・園では夏祭りやハロウィーンなどを積極的に行っているのので、学校と連携をはかりたい。
例)ハロウィーンで保育園の子どもが学校に訪れて、学生がお菓子をあげるなど
- ・保育園に模擬保育で来てもよい。その際は1クラス2～3名ほどの設定にしていきたい。
- ・地域としても何か子供向けのイベントがあれば積極的に学校に案内して連携したい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今回の学校関係者評価委員会は、委員2年目のメンバーが2名おり、継続的な見解を頂くことが出来た。実習・就職においてもっとも重要なのは、学校と業界が同じ目線で近い存在であり続けることである。問題があったとしてもしっかり共有し合い、お互い改善を図れるようになっていくべきである。また、産学連携・地域連携は今後養成校の価値を高める意味でも重要項目である。学校も、内々に目を向けることも大切であるが、外にどんどん出て行き、学生にとっていい機会を作っていくことが重要に感じる。

以上